

# こだわりの構造躯体 建築金物

ここが  
ポイント

建ってからは見えない構造部分  
見えないところにこそ安心を

木造構造の接合部の強度を高める為に要所に金物を使用します。  
柱と隅柱との接合部分にはホールダウン金物で柱と横架材を緊結して、隅角部にはL型に壁を配置し、耐震性をさらに強化します。  
構造を支える筋交についても、金物を使用して強固に緊結します。



ホールダウン金物  
基礎と構造躯体を緊結



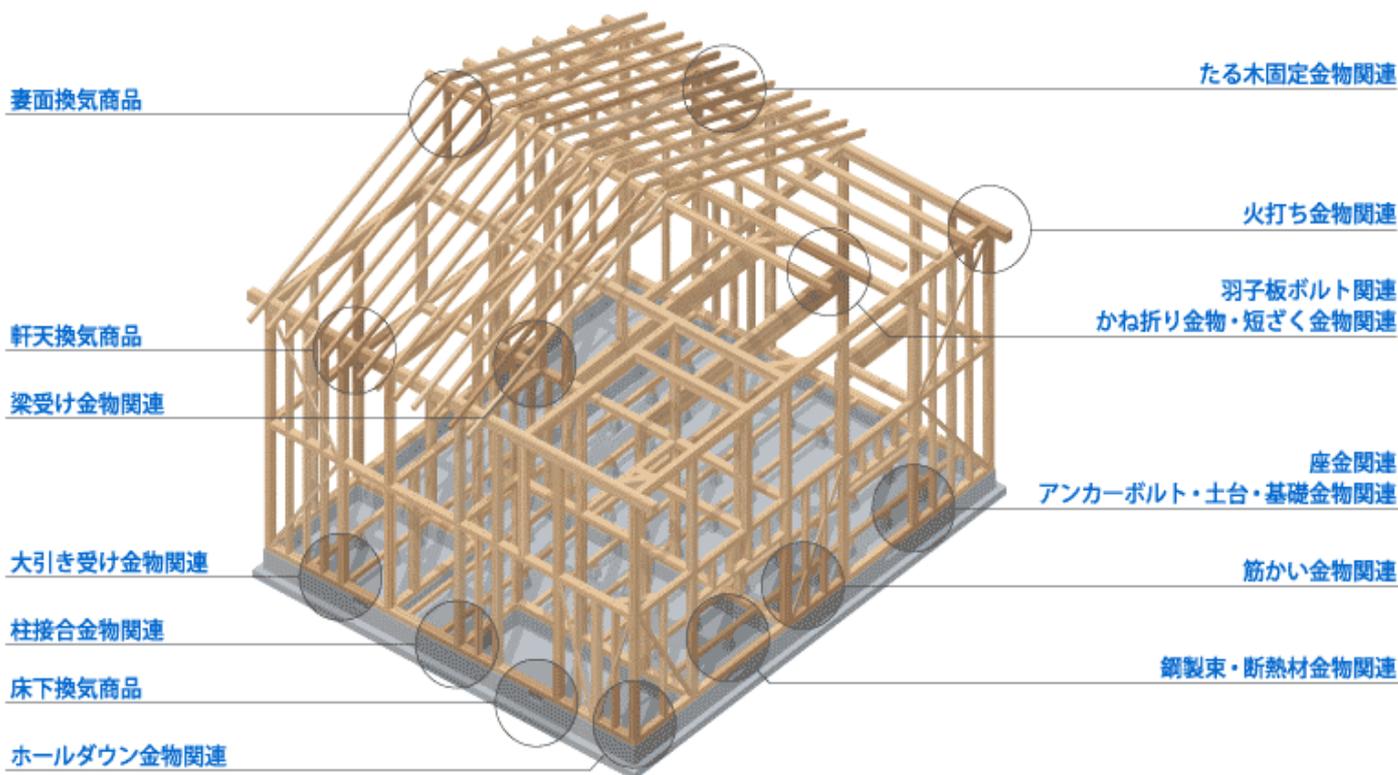
筋交金物  
筋交と柱と土台を三位一体に



火打ち梁くら金物  
屋根と梁を固定する



プレート金物  
梁の継ぎ足し部分も  
しっかり固定



●アランジ部を手で固定

●もう一方の手で調整

家を強固に支える鋼製束  
鋼製束はシロアリの心配がなく床下を  
しっかり支えて安心です。  
大引受けにゴム製の板を貼り、木材(大引)との  
接触音防止にも配慮しています。

